

【自動車車体整備科】

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		自動車整備専門課程	自動車車体整備科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	47 (1,060 単位時間)	22 (378 単位時間)		25 (790 単位時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
40 人		22 人	1 人	1 人	1 人		2 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学科については、教科書（日本自動車整備振興会連合会 発行）に記載された当該授業科目の内容を理解できることを目標に、補助教材（自動車メーカー独自の解説書や視覚教材など）を用いて計画を作成する。

実習については、当該授業科目の作業に習熟することを目標に、補助教材（教材車両、単体教材、実習ノート、視覚教材など）を用いて計画を作成する。

学科、実習ともに国家資格を取得できるだけの知識レベルに加えて、新技術に対応できる知識、技術の修得ができるよう、また、学外の委員も交えた教育課程編成委員会からの提案、要望等も考慮して授業内容を検討する。

成績評価の基準・方法

（概要）

学科においては、授業途中または授業終了時に行う筆記試験における満点を 100 点とした平均得点。

実習においては、作業に取り組む姿勢 10 点、課題レポートまたは日報 20 点、授業途中または授業終了時に行う実技試験 70 点の割合とする、満点を 100 点とした得点により成績評価を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の定めるところにより、すべての設置科において、当該学年において配分された全授業科目において履修を完了することが、進級または卒業の要件となっている。また、進級・卒業判定会議を行い、その時点で未履修の授業科目を持っている学生については状況により補習授業、再試験を行う。

学修支援等

（概要）

- ・ 個人面談の実施
- ・ 自動車車体整備士学科試験のための特別授業の編成

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

23 人 (100%)	4 人 (17.4%)	19 人 (82.6%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 各メーカー系ディーラーへの就職 100%			
(就職指導内容) 履歴書の書き方、面接試験の指導、企業訪問等の指導は主としてクラス担任が行う。10 月から 1 月にかけては、進路指導部より 1 日につき 1 社を基本として関連企業を招聘し、校内で説明会を開催している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 自動車車体整備士試験受験資格 (実技試験免除)。 有機溶剤作業主任者資格を取得することができる。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および学年担当教員、スクールカウンセラーによる個別相談		